

特別展「明清版画」 古人の巧みな創意

「匠心筆蘊—国立故宮博物院所蔵明清版画」特別展では、題材の表現やスタイル、印刷の技法など各面から切り込み、明清時代における版画の発展を考察します。(詳細は P5 をご参照ください)

特別展「貴州少数民族服飾」 貴州の煌びやかなシンボル

当博物院、貴州民族文化宮、台湾輔仁大学服飾織物学科が共催する「銀燦黔彩—貴州少数民族服飾」特別展では、民族のシンボル、服飾工芸、貴州の歴史や風土などをテーマに、貴州の少数民族衣裳の美をご覧ください。(詳細は P6 をご参照ください)

特別展「リヒテンシュタイン」 高評価続々

世界的にも有名なリヒテンシュタイン (Liechtenstein) 王室の芸術コレクション。当博物院は同王室より百点余りの貴重な収蔵品を借り受け、「アルプス王冠—リヒテンシュタイン秘蔵宝物」の特別展を開催しています。ラファエロ (Raphael)、ルーベンス (Peter Paul Rubens)、レンブラント (Rembrandt van Rijn) など巨匠の作品が一堂に会し、芸術愛好家にとっては見逃せない貴重な展覧です。(詳細は P6 をご参照ください)

当博物院所蔵銅器が台中の展覧会に出展

博物院が所蔵する銅器の名品「西周 父辛觥」、「殷後期 亜醜方鼎」及び「殷後期～西周早期 引作文父丁鼎」の三点が、国立自然科学博物館 (台中) 主催の特別展「鼎立三十：鑄造における先人の科学的知恵」に出展されます。ぜひ足をお運びください。(開催期間：5月22日～来年2月22日)

当博物院の所蔵文物は常設展と特別展の形式により第一展覧エリア（本館）に展示されています。まず1階西側（102展示室）のオリエンテーション・ギャラリーをご覧になってから、各展示室の故宮文物をじっくりと鑑賞されることをお勧めします。より効率的に文物を鑑賞していただくため、以下に展示物別の参観ルートをご紹介します。

一、書画参観ルート：

書画の展示室は2階の西側202、204、206、208、210、212で、それぞれ書法と絵画の常設展を開催しております。展示物は3か月ごとに入れ替えられます。このほか、不定期に書画特別展を開催しております。

二、図書文献参観ルート

図書文献は一階東側と西側の103、104展示室にてそれぞれ展示されており、不定期に図書文献特別展も催しております。

三、器物参観ルート（三つのルート）：

A. 歴史の長河：

三階の305、307陳列室で「古代青銅器の輝き—中国歴代銅器展」を、或いは306、308陳列室では、「敬天格物—中国歴代玉器展」をご鑑賞下さい。この他、二階の201、205、207などの陳列室の、「土の百変化—中国歴代陶磁器展」の風采もご覧下さい。

B. 精華文物：

当博物院は仏像（101展示室）、珍玩（106展示室）、家具（108展示室）をテーマとした常設展を開催しております。

C. 特別展：

三階東側303陳列室、西側304陳列室、及び二階東側203陳列室では、定期的に器物の展示を催しております。

四、その他：

一階東側105、107展示室では、定期的に書画処・器物処・図書文献処の三ヵ処で、合同展覧、または近代書画特別展を開催しております。

このほか、当博物院の第二展覧エリア（図書文献ビル）でも国際交流の一環として借用展を不定期に開催しています。公式サイトで最新の展覧情報からご確認いただけます。

下表は各展覧エリアで開催されている展覧の名称と展示場所です。当博物院の当季展覧のご参考にしてください。

■ 器物展覧 ■ 文献展覧 ■ 書画展覧 □ その他（黒は常設展、赤は特別展）

展示室	展覧名称	フロア平面図
第一展覧エリア (本館) B1		
西側	子ども学習センター	
第一展覧エリア (本館) 1階		
101	慈悲と知恵—宗教彫塑芸術展	
102	オリエンテーションギャラリー	
102 長廊	古画アニメーション	
103 / 105 / 107	銀燦黔彩—貴州少数民族服飾特別展 展覧期間:2015/06/12-2015/09/01	
104	匠心筆蘊—国立故宮博物院所藏明清版画特別展 展覧期間:2015/07/18-2016/01/10	
106	集瓊藻—院藏珍玩菁華展	
108	貴族の栄華—清代の家具展	
第一展覧エリア (本館) 2階		
201 / 205 / 207	土の百変化—中国歴代陶磁器展	
202 / 208 / 212	典範と流伝—范寬とその継承者たち特別展 展覧期間:2015/07/01-2015/09/29	
203	瓶盆風華—明清花器特別展 展覧期間:2014/11/12-2015/09/09	
204 / 206	筆に千秋の業あり 展覧期間:2015/07/01-2015/09/25	
210	書画マルチメディア室	
第一展覧エリア (本館) 3階		
300	青銅器工芸の謎	
301	鐘鼎彝銘—漢字源流展	
302	天人合唱—巧雕玉石展	
303	皇帝の鏡—清宮廷の鏡鑑文化とコレクション特別展 展覧期間:2015/03/31-2016/02/28	
304	水源の清らかな水が流れ来る—宋・遼・金・元玉器特別展	
305 / 307	古代青銅器の輝き—中国歴代銅器展	
306 / 308	敬天格物—中国歴代玉器展	
第二展覧エリア (図書文献ビル)		
アルプス王冠—リヒテンシュタイン秘蔵宝物特別展 展覧期間:2015/04/17-2015/08/31		

典範と流伝—范寛とその継承者たち特別展

第一展覧エリア（本館）：202、208、212 展示室

展覧期間：2015/07/01-2015/09/29

〈谿山行旅図〉：2015/07/01-2015/08/13

〈臨流独坐図〉：2015/08/14-2015/09/29

范寛（約 950 - 1031 の間）、北宋時代の山水畫の大家。本籍は陝西省華原。当初は李成や荆浩の繪畫を学び、後に長年にわたる自然觀察により独自の畫風を打ち立てました。当博物院が所蔵する「谿山行旅図」は、現存する范寛の真作であるとして最も認められている作品です。この作品は遠方に配置した主山、近くまで引き寄せた中景、近景に小さく描かれた旅人と高く聳える主山を対比させた手法により、迫真且つ雄壯な情景を演出しています。

もう一つの「臨流独坐図」も范寛の畫風を備えた大作であるとされています。山頂には木々が生い茂り、山は濃墨で輪郭を取り、水際に巨大な岩石が聳え立つなど、どれも「谿山行旅図」の特徴を有していますが、皴法のみが既に側鋒を用いた規律的な小斧劈であることから、制作時期は南北宋の李唐の時代に近いと考えられています。

本展覧は范寛の後に続く歴代畫家による同名の模作、及び范寛の畫法を取り入れた作品など計四十五点の畫作を系統的に展示し、范寛の風格が継承された脈絡をご覧いただきます。



宋 范寛 臨流独坐図

匠心筆蘊—国立故宮博物院所蔵 明清版画特別展

第一展覧エリア（本館）：104 展示室

展覧期間：2015/07/18-2016/01/10

本展覧は明清時代の挿繪版画が教育、娯楽及び伝播機能にもたらした成果をご紹介するだけでなく、さらに器物や書畫を版画と照らし合わせながら、版画の下繪の制作から刻版までの過程や、平面から立体に変化していく創作について説明し、古人が文化的な創意を發展させる中で、如何に芸術と商業を巧みに結びつけていったのかをご覧いただきます。展覧は四つのコーナーからなり、最初の「漫話話書」では明清時代における仏典の扉や各葉に描かれた挿繪から版画の流派について展示し、「創芸版画」では画稿から本の挿繪となるまでの平面から立体へと変化を遂げる過程をご紹介。さらに「妙技奇材」のコーナーでは、木版畫の単色刷りと多色刷り、および銅版や石版など異なる材質が登場して以降の技術の变化についてご紹介し、芸術に注いだ先人たちの無限の創意をご覧いただきます。最後の「古今・匠心」では、今日の版画創作とその過程を通じ、従来の版画制作技法にとどまらず、版画に新たな命を吹き込む現代の職人たちの心も感じていただきます。



明 張深之先生正北西廂秘本
元 王奕甫撰 閩漢卿統 明 陳洪綬画

銀燦黔彩—貴州少数民族服飾特別展

第一展覧エリア（本館）：103、105、107 展示室

展覧期間：2015/06/12-2015/09/01

服飾は、エスニックグループの文化を反映する重要な具体的シンボルで、そのコーディネートや紋様デザインの創作活用は、エスニックグループの社会制度や階位倫理を代表しているだけでなく、更には、一地域の風土や歴史が交わった独特な文化意義が内包されています。中国の西南に位置する貴州は、山々が連なり、自然の風景が多様に錯綜した地域です。何千何百年前から、異なるエスニックグループがここで開墾し経済を営み、煌びやかで美しい文化風采が融合されました。各エスニックグループは、その地域色に富んだ伝統的服飾を保留したほか、特色が鮮明で技法が独特な編物工芸を受継ぎ、歴史・宗教・文化・習俗などの要素をその中に注ぎ込み、豊富多様で格別な情緒を備えた服飾体系を形成し、エスニックグループの様相とそれら文化の特色を特徴づける重要なシンボルになりました。この特別展「銀燦黔彩—貴州少数民族の服飾」は、当博物院及び貴州民族文化宮・輔仁大学織品服装学科が共同企画し、服装・織物・銀細工のほか、貴州の歴史・地理・風物を反映する貴重な図籍文献を精選し、観衆の皆様を異なる角度から貴州少数民族服飾の真善美盛にお招きいたします。



苗蛮図
清 絵図

アルプス王冠—リヒテンシュタイン秘蔵宝物特別展

第二展覧エリア（図書文献ビル一階）

展覧期間：2015/04/17-2015/08/21

リヒテンシュタイン（Liechtenstein）は、国土の面積から言えば欧州でも極めて小さな国ですが、歴史は古く、神聖なローマ帝国の時代から、歴代の親王は均しく芸術を愛し、数多くの素晴らしい芸術コレクションを蓄積してきました。それらのコレクションは北方ルネッサンス・フランドル画派・バロック・ロココ・ピーターマイヤー等の西洋芸術史上、重要な段階の名画、名品を包括しており、豊富で精采な皇室芸術コレクションを構成しています。この度は一つの王室に所屬する格調高い芸術作品を100点余り展示します。それらには「ルネッサンス三傑」の一人、ラファエル（Raphael）・バロック芸術の巨匠、ルーベンス（Peter Paul Rubens）・英国の王、チャーリー一世の宮廷首席画家、ヴァン・ダイク（Anthony van Dyck）・オランダ黄金時期の画家、レンブラント（Rembrandt van Rijn）等、巨匠の傑作が包括されており、これを機に、社会の芸術人文風気に対するレベル向上だけでなく、ルネッサンス以降～19世紀に至る間の重要な画家、及び当時の芸術の背景の認識を深めることができるでしょう。精美なアートコレクションは、まるで精彩な西洋芸術史のようです。



アレスとレア・シルヴィア
ピーテル・パウル・ルーベンス

皇帝の鏡—清宮廷の鏡鑑文化とコレクション 特別展

第一展覧エリア（本館）：303 展示室

展覧期間：2015/03/31-2016/02/28

上古の昔から鏡は人の姿を映す大切な道具の一つでした。古代の人々も身だしなみを整えるのに鏡を使いましたが、光を放つ鏡面は天の太陽や月と同じ輝きだと考え、そこから厄除けや病氣平癒などの願いも鏡に託すようになりました。光線を反射する鏡の特徴から、明鏡は「鑑古知今」—過ぎ去った昔を映し出し、今を知る手がかりとなる、歴史的意味を持つようになりました。

「皇帝の鏡—清宮廷の鏡鑑文化とコレクション」では、清朝皇族と鏡の関わり—鏡の鑑賞法、装飾品としての鏡、鏡の使用法などについて三つのコーナーに分けてご紹介します。「鑑古遊芸—皇帝の銅鏡コレクション」では、清宮廷旧蔵の漢代から明代の古鏡を精選して展示いたします。「装匣陳設—銅鏡の収納箱」では、乾隆帝御製の「西清統鑑」、「西清統鑑・乙編」、「寧寿統鑑」など、鏡用の収納箱や付属品を展示いたします。「鏡を使う楽しさ—鏡のある暮らし」では、古代の銅鏡がかもし出す暮らしの趣、清代に発展したガラス鏡の色彩美もご覧いただけます。



盛唐 狻猊葡萄鏡

瓶盆風華：明清花器特別展

第一展覧エリア（本館）：203 展示室

展覧期間：2014/11/12-2015/09/09

花器には、「盆景（盆栽）」と「挿花（生け花）」の二種類の器があります。中国に於ける伝統的な花器の材質は銅・磁器・玉・石・ガラス・漆器・木・竹…など数多くあり、その形と構造は瓶・盆・缸・碗・盤・桶・籠、及び掛瓶などと豊富で多様です。今回の花器特別展では、当博物院が所蔵する明清時代の磁器の花器を主に展示しており、それらを「盆栽の器」と「生け花の器」の二単位に分け、この時代の花器の発展の特色を呈しています。盆栽や生け花は単品でアレンジしたり、数点を同時にアレンジしたりすることもでき、また他の材質の飾り物と共に飾ることもでき、花材や花器、装飾品の発音をもじって意味を転じた、「玉堂富貴」・「事事如意」の類の吉祥祈願のフラワーアートもあり、花材や花器、飾り物を通して、昔の人の芸術的なセンスを感じ取ることができます。明・清の皇室の花器は、当時製造された磁器や琺瑯器が主となっていますが、時には銅や玉、陶磁器などの古器を使い、本来の機能を変えて、花器にしたものもあり、古雅で華麗な風格を呈しています。



清 十八世紀 金葉玉卉水仙盆景

2015 年夏季文物セミナー

実施期間：2015/07/25-2015/07/31

場所：当博物院文会堂講演ホール

当博物院は 2015 年夏季文物セミナーを 7 月 25 日から七日間、計 21 コマのカリキュラムで開催する予定です。セミナーの内容は「故宮文物入門」、「神筆丹青—郎世寧来華三百年」、「故宮南院の展望」など。皆さまのご参加をお待ちしております。カリキュラムの内容と申込案内については 7 月初旬に当博物院ホームページにてお知らせ致します。

「国宝と対話—故宮文物と私」 文章コンテスト開催

当博物院の所蔵文物が秘める豊かな内容と物語は、これまで多くの人々にインスピレーションを与え、または観覧者の記憶と大切な思いと繋がり、影響を与えてきたことでしょう。故宮文物との出会いから生まれた人々の記憶と経験を求め、当博物院は文章コンテストを開催致します。応募方法は 6 月中旬に当博物院ホームページにてお知らせ致します。



物華再現—第二回博物館保存修復ワークショップ

時間：2015/09/18 09:00-17:00

場所：当博物院文会堂講演ホール

当博物院と北山堂基金は 9 月 18 日に第二回博物館保存修復ワークショップを開催し、予防的な保護・修復事例の紹介を主軸とした内容を予定しています。応募方法は 8 月に当博物院ホームページ「最新情報」にてお知らせ致します。

南部院区ボランティアガイド訓練！

期間：2015/08/07-2015/12/31

場所：嘉義県人力發展所創新学院大礼堂

当博物院の南部院区が今年 12 月 28 日に間もなくプレオープン致します。ご来館の皆さまに最高のサービスをご提供するため、当博物院は 2009 年よりボランティアの育成に取り組み、これまで七期にわたるボランティアのトレーニングを行って参りました。これらのトレーニングに続き、ボランティアの専門ガイド訓練を 8 月 7 日～12 月 31 日の期間中に実施します。十大オープニング開幕展を主軸とし、優秀な講師陣と専門訓練によりボランティアの専門知識と素養を培い、ガイドの解説能力を身に付けさせ、プレオープニングまでに周到なサービスを提供できるよう努めて参ります。



南部院区メイン建築施工図

瓷心一片・CHECK IN 南院

今年 5 月、当博物院は Facebook チェックインイベント「瓷心一片・CHECK IN 南院」を開催致しました。母の日に合わせ「慈母」をコンセプト、「磁器」をテーマに、本館広場に 3D トリックアートの参加型インスタレーションを設置し、南院の主建築とオープニング開幕展で展示される動物形青花磁器のトリックアートの中で写真を撮ることができます。南院のプレオープンに向けた PR イベント、いよいよスタートです。



南院 3D トリックアートの中の来館者

第一展覽エリア（本館）開館時間

- 年中無休 08:30-18:30
- 毎週金曜、土曜は開館時間を 21:00 まで延長（中華民国籍の方は身分証明書類を提示すれば、毎週金曜、土曜の 18:30-21:00 は無料でご入館いただけます。）

第一展覽エリア（本館）入場料

- 大人入場券 250 元、割引券 150 元（外国人学生は国際学生証提示）
- 10 人以上の団体券は 1 人 250 元（団体用音声ガイド 20 元を含む）
- オフピーク入場券 150 元（2015 年 7 月 1 日～12 月 31 日、毎日 16:30 以降、身分証明書提示不要でどなたでもご購入いただけます）
- 就学前の児童、心身の不自由な方と付き添いの方 1 人、65 歳以上の中華民国籍の方、中華民国教育部立案教育機関に就学しその有効な学生証を有する学生は無料。

国立故宮博物院・順益台湾原住民博物館共通入場券

- 普通券：320 元（現金による購入のみ）

国立故宮博物院・美麗華百樂園観覧車共通券

- 普通券：320 元（現金による購入のみ）
- 故宮第一展覽エリア（本館）の観覧券と美麗華観覧車チケット

故宮と台北 101 展望台一般共通券

- 一般共通券 600 元（台北 101 展望台でお買い求め下さい）

アクセス

- MRT 淡水線：士林駅下車、路線バス 255、304、815、紅 30（低床バス）、小型バス 18、19 に乗り換え。
- MRT 文湖線：大直駅下車、棕 13 番バスに乗り換え、または劍南路駅下車、棕 20 番バスに乗り換え。
- 桃園国際空港への往復は MRT 民権西路駅、または行天宮から空港直通バスを利用。

故宮週末の夜ー芸術上演イベント

- 毎週土曜日の 18:00。本館 B1 ホールにて行われます。（変更がある場合は当博物院の公式サイトのお知らせに準じます）
- 当イベントは無料で鑑賞いただけます。プログラム表は当博物院「故宮週末の夜」のサイトをご覧ください http://www.npm.gov.tw/events/98events/saturdaynight_9807/

張大千先生記念館

- 毎週火曜日～日曜日の 09:30、10:30、14:00、15:00 に開放され、参観時間は毎回 40 分。〔休館日〕毎週月曜、国が定める祝祭日及び大千先生の命日（4 月 2 日）。
- 見学される個人、団体は、見学日の 7 日までに、当記念館のサイトでお申し込みください。
- 所在地：11144 台北市士林区至善路 2 段 342 巷 2 号
- <http://www.npm.gov.tw/exh96/dai-chien/jp04.html>

至善園

- 毎週火～日開園・開園時間：4～10 月 08:30-18:30・11～3 月 08:30-17:30
- 入園料：20 元。故宮博物院当日の入場券をお持ちの方は無料で入園できます